

歩く県道とは



福島県では、車の通行が不能となっている県道会津若松三島線、県道小川会津宮下停車場線（会津銀山街道の吉尾峠）を歩く県道として、整備・利活用し、地域の活性化につなげるための取り組みを行っています。今年度も道普請を実施して街道の整備を行うとともに検討会を開催し、峠道を利活用した地域づくり活動について、地域の皆様と話し合いを行いました。

「普請」（結ともいう）は、町村や地区全体にとってプラスになることをみんなの力を合わせて行うことです。今日でも青年団の「むら仕事」や町内会の「側溝の清掃」などが行われています。私たちが取り組む道普請は、人が歩き、馬や牛が行き交っていた時代の主要な街道（会津銀山街道と旧越後街道）の峠道を対象として、自然に寄り添った工法「近自然工法」で整備を行っています。



継続している 川口高校との連携



美女峠の餅ヶ沢には、かつて峠の茶屋があったと言われています。広大なブナ林が美しい景勝地ですが、道の水はけが悪く、ぬかるみで歩きにくいいため、地域の方から改善してほしいと要望をいただけていました。

令和4年7月7日に福島県立川口高等学校をはじめ、銀山街道を活用して地域を元気にする会などの総勢50名に参加いただき、排水対策として丸太側溝、憩いの場としてベンチを設置しました。川口高校の生徒からは、「楽しかった」「ふだん体験できない経験だった」、九州大学の学生からは「継続できている秘訣が感じられた」「今後も参加したい」などの感想をいただきました。ぐるっと会津のライターも参加し、作業の様子や峠の茶屋体験などをホームページにまとめていただきました。そちらもぜひ、ご覧ください。

今回の連携を通して、本事業が様々な世代や業種をつなぎ、地域の文化や歴史を伝えるきっかけとなることを再認識しました。今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

- 1: 整備した丸太側溝の脇で、集合写真。力強いこぶしと清々しい笑顔から達成感が伝わってきます。
- 2: ベンチの作り方を指導する金山町の滝沢康成さん。川口高校の生徒はきれいに仕上げようと真剣です！
- 3: こちらは杭打ち体験。重いカケヤの扱いは難しそう。
- 4: カスガイ（コの字の金物）を打ち込む様子。赤べこキャップの田賀陽介先生（東北芸術工科大学非常勤講師）が丁寧にコツを伝授。



※【ぐるっと会津】での体験記はこちら
<https://www.gurutto-aizu.com/detail/809/news/news-93183.html>

道普請前日に座学

川口高校の皆さんに、街道の歴史や整備の方法について理解を深めていただくため、道普請作業の前にアドバイザーの田賀先生に講義していただきました。

2年生が受講し、会津銀山街道の概要や当日の施工方法などに、四国にある山間地の暮らしの事例を基に、里山の土地利用の合理性や人の手で扱える資材の大きさがどの程度であるかなどを教わりました。また、昨年度の先輩方の作業風景に関心を寄せていました。



先輩からのバトン



整備前



2



3



整備後



4



5

- 1: 丸太側溝の整備前後。ぬかるみが改善され、足元に気を取られずに森林浴を楽しめます。
- 2: 完成した丸太側溝の様子。
- 3: 丸太を担ぐ川口高校の生徒。軽快に運ぶ姿が頼もしい！
- 4: 沢沿いにつくったベンチ。沢の音が聴こえ、涼やか。
- 5: ベンチの背後につくった粗朶柵。注意喚起だけでなく、路肩土留めの効果にも期待。



ぬかるみを気にせず、憩うことができるようになり、餅ヶ沢の魅力が高まりました。

安全性にも気を配りました。

沢のせせらぎを感じられるベンチは、少数で丁寧につくりました。背後には、粗朶柵そださく（丸太杭と枝でつくるガードレール）をつけ、

完成させていきたいです。

餅ヶ沢での丸太側溝とベンチづくりは、二手に分かれ、全体をアドバイザーの田賀先生に監修していただきました。

丸太側溝は設置箇所の掘り上げ、丸太の組み上げ作業をしました。周辺のぬかるみで思うように作業が進まず、一部丸太の組み上げが残ってしまいました。今後作業を継続し、

整備が進む

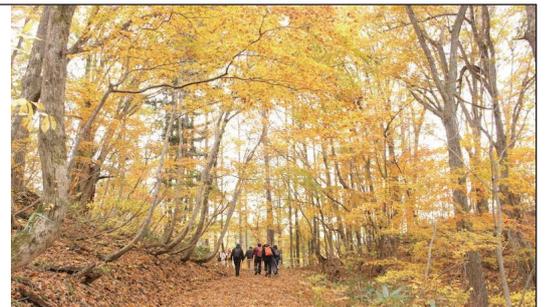
お休み処



会津銀山街道の魅力 「美女峠の紅葉」

江戸時代の諸国巡見使に随行した古川古松軒は著書の東遊雑記にて、「この山は楓の木ばかりにて、人びとみな目を驚かせしなり。竜田・高尾とて昔より世に称せること。なかなかこの楓林には及ぶべきに非ず」と楓林の景観を賞賛しています。

現在もカエデやブナ、ナラの天然木が数多く生育しており、春は新緑、秋は紅葉の黄や赤、オレンジの絨毯が楽しめます。



ご意見・お問い合わせ

福島県会津若松建設事務所企画調査課

MAIL : wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp

TEL : 0242-29-5455 / FAX : 0242-29-5459



会津銀山街道